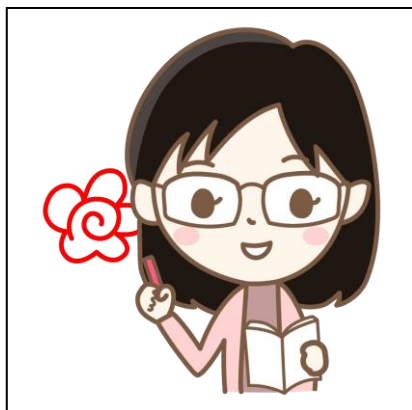


# のびのび通信

2019.11.11 調査検証部

## のびのび先生第三弾

昨年度、4学年の中で特に国語の学力をのびした先生（のびのび先生）に学力を上げるコツを聞きました。



教諭 ●● ●●（元4年4組）  
昨年度の学力の伸び率

4-4  
国語 2.6

>

他のクラス平均  
国語 1.3

- 日記を毎日書かせる
  - ・ 1年間を通して、自分の思いを文章で表現できるようにする。
  - ・ 日記は学校保管（児童と1対1でやりとりをするため）

●●先生のあたたかい言葉がけで子供達の自己肯定感が高まりますね！

- スピーチや発表を多く取り入れる。
  - ・ 朝のスピーチ
  - ・ 自分の意見や考えを表現する機会を多くつくる。  
「○○は、3つあります。  
1つ目は○○です。……  
2つ目は○○です。……  
3つ目は○○です。……」  
というように聞いている人が分かりやすいように発表する。

- 学力を伸ばしたい子ほど丁寧に見る。
- 授業は書く作業を徹底的に！
  - ・ 式・答えだけではなく、問題、自分の考え、計算、答え、まとめまで徹底的に行う。
  - ・ ノートにこのような流れを全て書くことが基本。
  - ・ 振り返りカードで○○ということが分かった、○○さんのこの考え方がよかった。など自分の言葉で何がどのようにできたのかを書かせる。

月/日	5分間日記	連らく(サイン)
9/16 (月)	三連休が終わり、おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。	楽しい休日 2-すね。
9/11 (火)	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。
9/8 (水)	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。	活やくし たね。
9/19 (木)	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。
9/20 (金)	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。	おじいちゃんの家へ行って、おじいちゃんとおじいちゃんのお話を聞きました。おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞いて、おじいちゃんのお話を聞きました。

→子供達一人一人を伸ばそうという●●先生の思いが、きめ細やかな指導に表れています。その指導が授業内容の理解やテストの結果にも繋がっているのですね。さすが、のびのび先生！

# 科学的に子どもを伸ばそう！

ここ数年、教育が「科学」として研究されるようになってきました。  
そこで、多くの研究者によって「効果がある」とされた方法を紹介します。  
実際の教育は、「科学」の通りにやるのが必ずしも正しいとは言えませんが、ともに参考にして  
いきたいと考えています。

## 1. 学力よりも大切？「非認知能力」を伸ばそう

学術的な呼び方	一般的な呼び方
自己認識	自分に対して自信がある、やり抜く力がある。
意欲	やる気がある、意欲的である。
忍耐力	忍耐強い、粘り強い、根気がある、気概がある。
自制心	意志力が強い、精神力が強い、自制心がある。
メタ認知ストラテジー	理解度を把握する、自分の状況を把握する。
社会的適正	リーダーシップがある、社会性がある。
回復力と対処能力	すぐに立ち直る、うまく対応する。
創造性	創造性に富む、工夫する。
性格的な特性	神経質、外交的、好奇心が強い、協調性がある、誠実。

学力は、もちろん大切です。でも、このような力も伸ばしていきたいものですね。

## 2. 「論理的な」しつけのすすめ

子供がおもちゃを投げました。その時に適切な「罰」はどちらでしょうか。

- ①明日の遊びの約束をキャンセルさせる。
- ②15分間、おもちゃを取り上げる。

※「論理的な」しつけの例

何かをこわしたら、自分で直させる。

こぼしたら、自分で拭く。

泣かせてしまったら、自分でなぐさめる。

そのように、「修復」させることが、「論理的な」しつけだそうです。

## 3. 一生を左右する、子供の頃の褒められ方

どちらが、子供の「成長思考」や「やり抜く力」を伸ばす褒め方でしょうか。

- ①「才能があるね！」 「できなくても、気にしなくていいよ」
- ②「よくがんばったね！」 「すぐにできなくても、気にしなくていいよ」

「生まれながらの才能」よりも、「努力」や「学習」を褒めることで、子供の「成長思考」や「やり抜く力」を伸ばせるそうです。

また、「無理」という思い込みがなくなる体験をすることが、子供を大きく成長させるそうです。  
「できないと思っていたことが、できるようになる」そんな体験を子供達にたくさんさせたいもの  
ですね。

<参考資料>

中室牧子『「学力の経済学」』ディスカバー・トゥエンティワン

トレーシー・カチロー『いまの科学で「絶対がいい！」と断言できる最高の子育てベスト55』ダイヤモンド社

アンジェラ・ダックワース『GRIT やりぬく力』ダイヤモンド社